

〈平成22年（2010年）基準〉

I 調査結果の概要

1 概況

平成24年の農産物価格指数（平成22年を100とする。以下同じ。）の総合は101.8となり、前年に比べて4.3%上昇した。また、農業生産資材価格指数の総合は102.9となり、前年に比べて0.7%上昇した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は98.9となり、前年に比べて3.6%上昇した。

図1 農産物価指数の推移(平成22年=100)

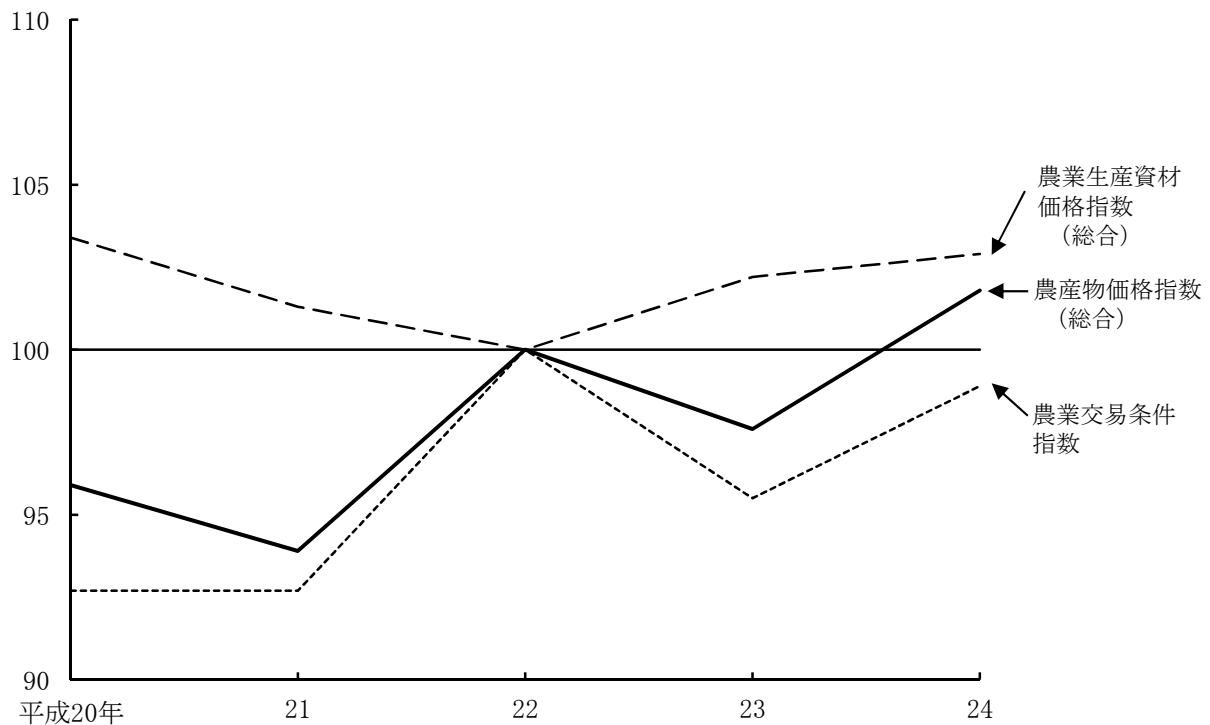


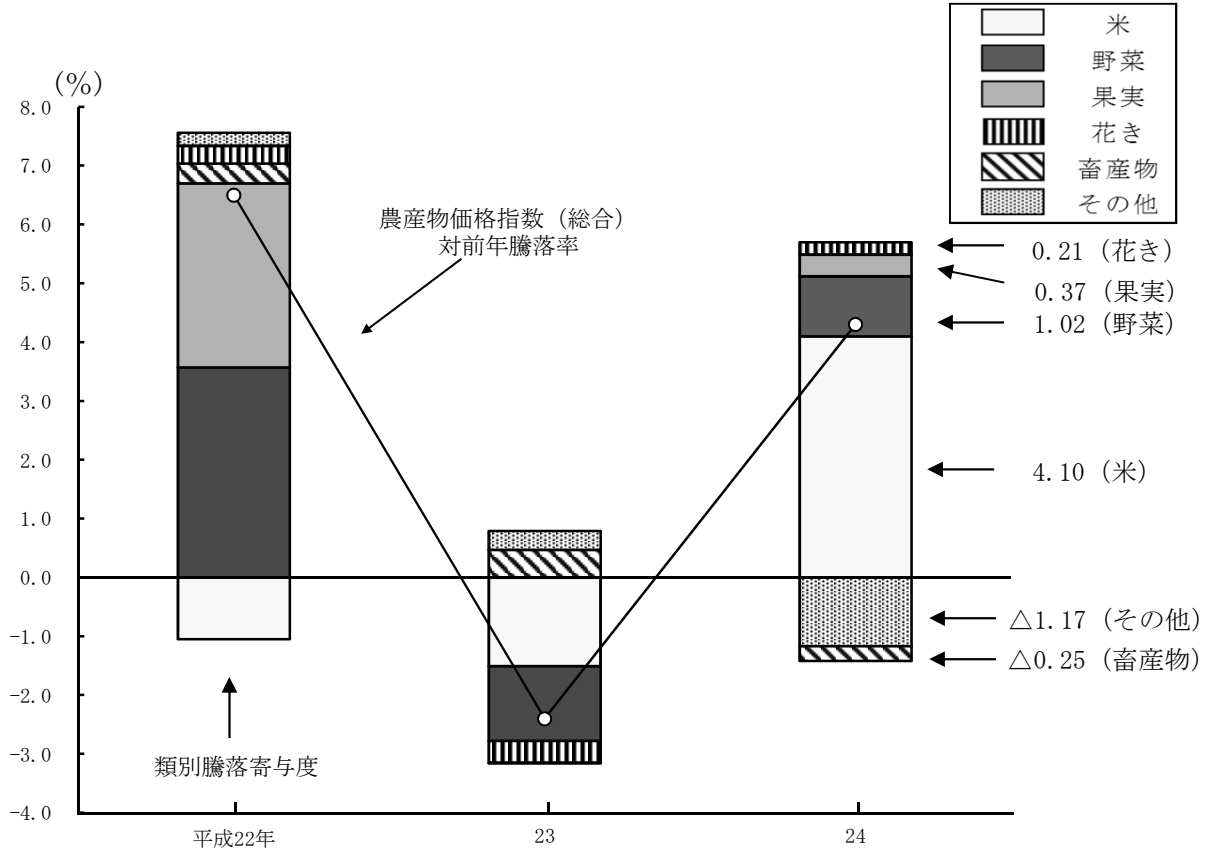
表1 農産物価指数の推移

区 分	平成22年=100				
	平成20年	21	22	23	24
農産物価格指数（総合） ①	95.9	93.9	100.0	97.6	101.8
農業生産資材価格指数（総合） ②	103.4	101.3	100.0	102.2	102.9
農業交易条件指数 ① / ② × 100	92.7	92.7	100.0	95.5	98.9

2 農産物価格指数

平成24年の農産物価格指数（総合）は101.8となり、前年に比べ4.3%上昇した。これは、米、野菜、果実等の価格が上昇したことによる。

図2 農産物価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：騰落寄与度とは、農産物価格指数（総合）の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかである。

ア 米

米は111.1で、前年に比べて19.1%上昇した。これは、23年産米の価格が上昇したことによる。

イ 野菜

野菜は99.0で、前年に比べて3.9%上昇した。これは、23年末から春先までの低温や少雨の影響により、春先の収穫量が減少し価格が高騰したこと等による。

ウ 果実

果実は102.8で、前年に比べて2.9%上昇した。これは、23年産のりんごの収穫量が減少したことから価格が上昇したこと等による。

エ 畜産物

畜産物は100.9で、前年に比べて1.0%低下した。これは、鶏卵や肉豚の出荷量が減少していた前年から回復し、価格が低下したこと等による。

表2 農産物類別価格指数

平成22年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		平成23年	24	平成23年	24	平成23年	24
農産物総合	10,000	97.6	101.8	△ 2.4	4.3	△ 2.40	4.30
米	2,247	93.3	111.1	△ 6.7	19.1	△ 1.51	4.10
麦	90	75.1	73.1	△ 24.9	△ 2.7	△ 0.22	△ 0.02
雑穀	11	81.1	54.4	△ 18.9	△ 32.9	△ 0.02	△ 0.03
豆	90	99.8	91.6	△ 0.2	△ 8.2	0.00	△ 0.08
いも	259	102.5	80.2	2.5	△ 21.8	0.06	△ 0.59
野菜	2,700	95.3	99.0	△ 4.7	3.9	△ 1.27	1.02
果菜	1,169	98.6	104.7	△ 1.4	6.2	△ 0.16	0.73
葉茎菜	1,099	89.4	92.5	△ 10.6	3.5	△ 1.16	0.35
根菜	316	99.6	100.0	△ 0.4	0.4	△ 0.01	0.01
まめ科野菜	116	106.6	100.2	6.6	△ 6.0	0.08	△ 0.08
果実	1,256	99.9	102.8	△ 0.1	2.9	△ 0.01	0.37
工芸農作物	392	112.7	101.6	12.7	△ 9.8	0.50	△ 0.45
花き	501	92.7	96.8	△ 7.3	4.4	△ 0.37	0.21
畜産物	2,449	101.9	100.9	1.9	△ 1.0	0.47	△ 0.25
鶏卵	118	106.0	95.7	6.0	△ 9.7	0.07	△ 0.12
生乳	1,115	101.3	102.5	1.3	1.2	0.14	0.14
肉畜	847	101.2	97.8	1.2	△ 3.4	0.10	△ 0.30
子畜	325	104.9	106.4	4.9	1.4	0.16	0.05
成畜	44	96.3	94.6	△ 3.7	△ 1.8	△ 0.02	△ 0.01
稻わら	5	103.9	104.3	3.9	0.4	0.00	0.00

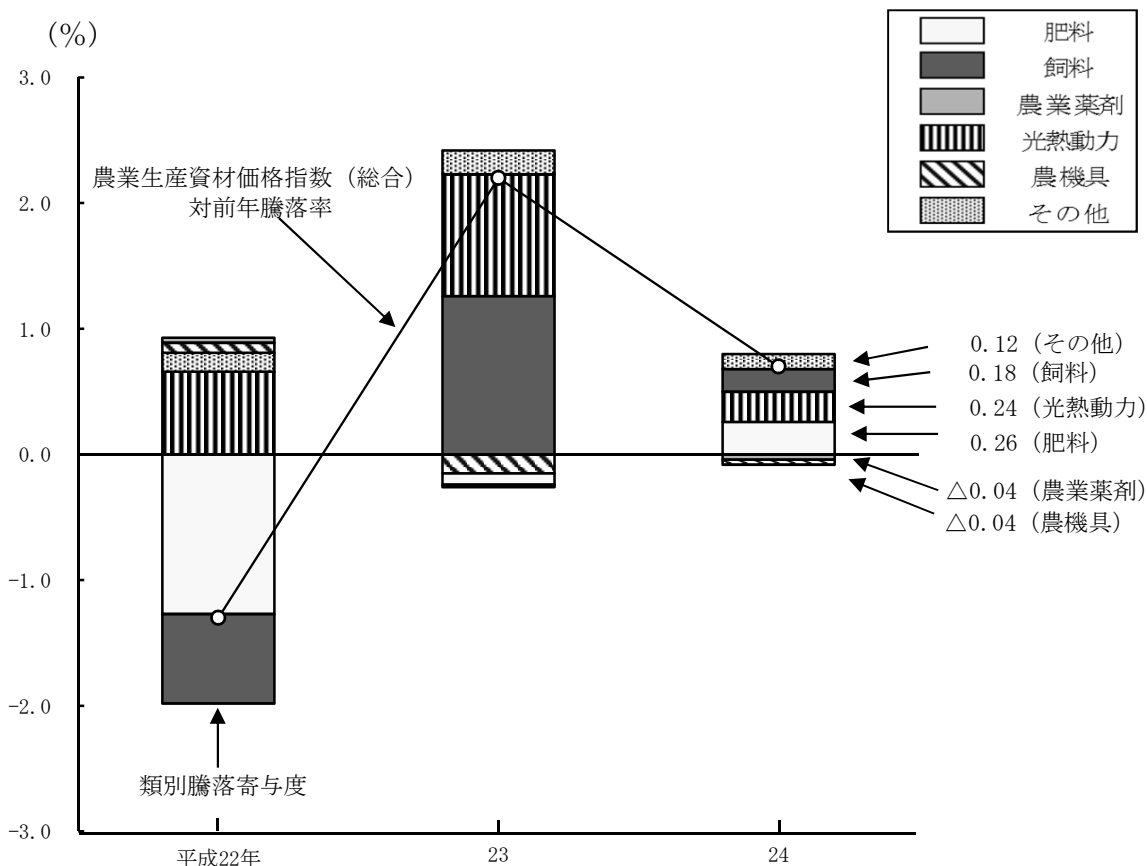
注：騰落寄与度とは、農産物価格指数(総合)の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかであり、算式は以下のとおり。

$$\text{騰落寄与度}(\%) = \frac{\text{類別}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

3 農業生産資材価格指数

平成24年の農業生産資材価格指数(総合)は102.9となり、前年に比べて0.7%上昇した。
これは、肥料、光熱動力等の価格が上昇したことによる。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：騰落寄与度とは、農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかである。

ア 肥料

肥料は101.7で、前年に比べて2.5%上昇した。これは、原材料の輸入価格の上昇等から複合肥料の価格が上昇したこと等による。

イ 飼料

飼料は108.5で、前年に比べて1.0%上昇した。これは、とうもろこし等の原材料の国際相場が上昇したことから、10月以降に配合飼料の価格が上昇したこと等による。

ウ 光熱動力

光熱動力は113.0で、前年に比べて2.4%上昇した。これは、原油価格の上昇により重油等の価格が上昇したこと等による。

表3 農業生産資材類別価格指数

平成22年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		平成23年	24	平成23年	24	平成23年	24
農業生産資材総合	10,000	102.2	102.9	2.2	0.7	2.20	0.68
種苗及び苗木	525	100.2	100.4	0.2	0.2	0.01	0.01
畜産用動物	440	102.3	102.7	2.3	0.4	0.10	0.02
肥料	1,070	99.2	101.7	△ 0.8	2.5	△ 0.09	0.26
飼料	1,701	107.4	108.5	7.4	1.0	1.26	0.18
農業薬剤	887	99.8	99.3	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.02	△ 0.04
諸材料	378	100.2	101.2	0.2	1.0	0.01	0.04
光熱動力	928	110.4	113.0	10.4	2.4	0.97	0.24
農機具	2,072	99.3	99.1	△ 0.7	△ 0.2	△ 0.15	△ 0.04
自動車・同関係料金	578	100.2	100.6	0.2	0.4	0.01	0.02
建築資材	392	102.3	102.8	2.3	0.5	0.09	0.02
農用被服	32	100.8	102.4	0.8	1.6	0.00	0.01
賃借料及び料金	997	99.7	99.7	△ 0.3	0.0	△ 0.03	0.00

注：騰落寄与度とは、農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかである（算式は10ページのとおり。）。